

令和2年度  
学校関係者評価報告書

学校法人 エイシンカレッジ

新潟こども保育カレッジ

令和3年5月24日

## 令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人エイシンカレッジ  
新潟こども保育カレッジ  
学校関係者評価委員会

学校法人エイシンカレッジ 新潟こども保育カレッジ 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価の結果に基づき学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

### 1. 開催日時

日時：令和3年5月24日（月） 10:00～11:20

### 2. 開催場所

場所：新潟こども保育カレッジ 4F 教室

### 3. 出席者

委員会の出席者は以下のとおり。

〈外部評価委員〉

南浩子（ほうゆう保育園園長）、相馬公子（開志国際高等学校非常勤講師）

〈内部評価委員〉

学校長、学科長、事務局長

### 4. 委員会次第

（1）開会

（2）学校長挨拶

（3）出席者紹介

（4）令和元年度事業報告

（5）自己評価結果に関する報告及び意見交換

（6）閉会

## 5. 自己評価結果に関する報告及び意見交換について

### (1) 教育理念・目標

- ・教育理念及び目標は適切に設定されている。より、学生、保護者に周知することが今後の課題である。
- ・来年30人を超える卒業生を送り出すとともに、新入生もあわせて80名の生徒が学ぶ状況であるが、引き続ききめ細かな指導をお願いしたい。

### (2) 学校運営

- ・運営方針、事業計画は、教育理念、目標に沿って、作成及び運営されている。
- ・さらなる業務の効率化、ペーパーレス化を進めてほしい。

### (3) 教育活動

- ・保育と心理学分野を強化したカリキュラムを基盤に、保育現場で必要とされる人材育成のための教育が行われている。保育の実践に関わる演習が、コロナウイルス感染防止対策のため縮小しているようである。可能であれば、同法人系列こども園での実践演習も有意義ではないだろうか。

### (4) 学修成果

- ・1期生、2期生の保育実習実績が保育園・幼稚園・福祉施設などとの連携強化につながったようである。学生の教育に利益のある環境整備に今後も努めてほしい。卒業後の進路を見据え、実習やボランティアなどに学生が主体性を持ち、能動的に取り組めるためキャリア指導も引き続き充実してほしい。保育現場に求められる保育を育むことを成果として行ってほしい。

### (5) 学生支援

- ・学生本人ほか保護者とも連携し、各々の心身の状態に配慮し、在学しやすい環境を保障するよう学校組織全体で努めていることは評価できる。  
学校相談室の活用や教員との頻度の多い個別面談は、学生の学習意欲の保持や学修への不安、心配の解消に有益であるだろう。学生個々への丁寧な対応を継続して行ってほしい。

### (6) 教育環境

- ・より良い授業環境保障のための設備整備や配信型の授業資料提供など、学生の教育環境の向上は評価できる取り組みである。実習やボランティア活動先として保育園・福祉施設・学校他多くの連携関係を構築できている。授業内容や教育環境については随時、省察を行い、学生に有益な教育環境の向上を常に目指してほしい。

- ・既存の防災計画に不足はなく、避難誘導図など緊急時の行動の指針が学生にも周知されている。定期的、かつ訓練実施につきP D C Aサイクルを行い改善・充実に努めることが望ましい。

#### (7) 学生の受入れ募集

- ・入学生は着実に増えており、その成果をみても学生募集、広報活動は適正であると評価する。
- ・コロナ禍を鑑み来校型のオープンキャンパスは感染症対策に十分留意してほしい。

#### (8) 財務

- ・公認会計士による会計監査が定期的におこなわれており、財務に関する透明性が確保できている。
- ・財政基盤をより安定的なものにするためにも引き続き在籍者の確保に期待する。

#### (9) 法令等の遵守

- ・個人情報など取り扱いに注意すべきものは、慎重に対応している。
- ・自己評価等を公開しているが、それによって寄せられた様々な意見を活用し、学校運営の改善に取り組んでほしい。

#### (10) 社会貢献・地域貢献

- ・教育環境としての設備や機器がとても充実しているので、空いている教室等があれば公開講座を行うなど、地域住民にも気楽に貸し出しや利用ができるより開かれた学校になって欲しい。